

# 環境・エネルギー・素材

## 年50万台に倍増

### リサイクルテックが第2工場

#### パチンコ台のリサイクル

【名古屋】リサイクルテック・シャパン（名古屋港区、高取美樹社長、052・389・2277）は、パチンコ・パチスロ廃棄台のリサイクル事業の拡大に向け、本社工場近くの名古屋市港区内に第2工場を稼働した。これにより08年2月期は売上高を前年度の約2倍の7億円を目指す。さらに同区内に第3工場、第4工場用の建物を確保しており、3年以内に稼働する。

第2工場は建築面積約700平方メートル規模。既存建屋を活用し、3000万円を投じ工場として整備した。工場スペースは本社工場と合わせると2

倍に拡大し、パチンコ・パチスロ廃棄台のリサイクル処理能力も年間約50万台と倍増した。同社は愛知県遊技業協同組合（名古屋市中区）、

リサイクル業のERC（名古屋市昭和区）などと共同でパチンコ・パチスロ廃棄台のリサイクル処理事業「廃遊技機トレ防ぐのが特徴だ。



同事業が軌道に乗り、処理台数が増えている。また今後、ERCと共同で同事業を他県にも拡大したい考え。このため第2工場）

工場を稼働した。

さらに第3工場、第4工場も検討しており、建築面積約1000平方メートルと約700平方メートルの建物を確保している。

現在は倉庫として利用しており、処理台数の状況を見ながら工場に整備

する。

リサイクルテックはパチンコ・パチスロ廃棄台専門のリサイクル業者。木質系材料を粉碎して堆肥化するなど、独自のノウハウにより材料リサイクル率99・8%を実現している。